

## 水質事故（油事故）対応訓練行いました

群馬用水では、平成20年に赤城幹線に油が不法投棄された事態を受け、油流出事故を想定したオイルフェンス設置等の実施訓練を行っています。本年は10月13日（水）に榛東村広馬場にある群馬用水榛名幹線広馬場第1開水路にて、利水関係機関、関係市町村、協力業者及び機構職員、総勢50数名の参加を得て実施しました。

当日は、心配されていた雨も無く、暑さも和らぎ丁度よい日和で予定通り訓練を実施することができました。

※ 群馬用水では、平成20年の油投棄の事態を受け、幹線水路の各所に吸着場所の整備と吸着資材の配備を進めています。

### 【施設整備状況】



#### ○油膜吸着場所

幹線水路の各所に整備を進めています。（ロープ取付フック、ロープ固定金物、安全带取付手すり）



#### ○吸着資材倉庫

幹線水路の各所に吸着資材倉庫を配備しています。（吸着資材、救命胴衣、安全带、ロープ、ボートフック、土嚢、鎌等）

### 【訓練状況】



#### ○訓練

榛名流況安定施設に集合

細山田所長より挨拶と趣旨説明を行いました。



#### ○吸着フェンスの準備

2 m物の吸着フェンスを水路の幅に合わせて接続し1本のフェンスにします。継目に綻びが出ないよう接続（油膜をスムーズに導流するため）し、両端にロープを取り付けます。



#### ○吸着フェンスの展張

吸着フェンスを水路に45°に張ります。フックに引っ掛け、水流でタルまないよう緊張し、ロープ固定金物に結びつけます。

吸着フェンスは短めに製作し、端部の処理は、吸着フェンス1本を”く”の字に流して行います。



#### ○代わる代わる全員で訓練を実施しました。



#### ○土嚢を使った吸着フェンスの展張訓練

下流の4本目の吸着フェンスは、土嚢（石詰め土嚢）を重石にして展張しました。水の流れに負けずに45°に緊張するのは難しい作業です。



○吸着フェンス展張の完了



○吸着マットの設置

油膜は、吸着フェンスの下に潜り込む現象を起こすので、吸着フェンスの間に吸着マットを流し込み全面を覆い、潜り込んだ油膜も浮いてきた時にキャッチ（面で吸着）します。吸着マットは上流側から投入し、マットを傷つけないようボートフック等で誘導し広げます。



○完成

分水工が左岸側に有るので、右岸側に油が集まるようにしています。右岸上流の角に油膜が集まるので、この部分の吸着マットが吸着出来なくなったら順次新しい物に交換して吸着作業して行くことになります。

終わりに

関係者の皆様には、お忙しい中、水機構の訓練に参加して頂きありがとうございました。また、アンケートに協力して頂きありがとうございました。アンケートで「榛名側だけでなく赤城側でも実施して欲しい」、「人事異動を考慮し春先に実施して欲しい」等のご意見を頂きました。皆様のご意見を反映して来年度以降の訓練を計画して参りたいと考えております。

また、協力業者の皆様には、今後、緊急で出動をお願いすることが出てくると思われまます。参加頂けなかった職員の皆様に、当日の資料や、この記事等を元に作業方法を周知して下さいようお願い致します。

群馬用水は、緊急時の対応について取り組みを進めて参ります。引き続き、皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。